

パブリックコメントの回答について

恵那市 SDGs 未来都市計画改定（案）へのパブリックコメントは、令和7年2月7日（金曜日）から2月28日（金曜日）まで募集し、2名の方から2件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は以下のとおりです。

No	いただいたご意見	市の考え方
1	<p>恵那市は木曾川下流域の水害を止める事の出来る重要拠点地では有りますが、短期間でできる一万人避難香嵐溪階段ダム建設に賛同して頂いた後 恵那市恵那峡奥矢作・豊田市旭稻武・根羽村および天竜川に繋がる河川バイパス水路地での、災害防災はもちろん、海外に頼らない都市鉱山 100%分別貯蔵地域となれば、1200 兆円借金減少の道筋に繋がる方法です。更に、今回起きた埼玉県八潮市の道路陥没事故での、復旧まで、地下 10mでは、半年、地下 40mのリニアでは3年、リニア交通体型が確立してからの、3年復旧での膨大損失は確実で有るので、リニアは合掌型マンション群列の上とし、平行して、マンションに振動を与えないリニモも誘致すれば、合掌型マンション列の所々に公園・モール・ホテル・工場等々の誘致で、未来都市を形成し、余る土地は、農地と成り、食料は日本だけで自給させられます。また、水力発電は電気分解での水素酸素製造貯蔵で、燃えれば水に成る、水素酸素社会で、石油・液化天然ガスの輸入はしなくてよく成ります。</p>	<p>SDGs を推進するなかで、防災や新しいエネルギーの活用は必要な視点です。ご意見を参考にさせていただきます。</p>

2

『住みたい田舎ベストランキング全国第一位』を契機に、恵那のすばらしさや魅力を、日本だけでなく世界に発信し、豊かな人生を求める世界の若者が、住んでみたいと思う街に、そして、今住んでいる人々が「長く住みたい」「自慢のふるさと」と誇れる恵那市にする。

提案：「恵那市の資源『薪』を介した好循環」

■薪を介したエネルギーの地産地消に取り組むことで、この恵那市の豊かな自然を活かしながら、「人々の交流」「郷土意識」「経済」「社会」「環境」に好循環＝住みやすく持続的な豊かな町を形成できると考えます。（計画書 P7. に関連あり）

■（計画書 P. 11）木の駅プロジェクトについて

とても先進的な活動だと思いました。今後も課題抽出したうえで持続可能な取り組みとして改善を行うとのことでしたので、非常に期待しています。

■薪の活用について

◎都市部からの自然体験ツアー「薪割体験、火おこし体験、森の整備・保全作業」

体験者に「恵那の薪」をプレゼント。定期会員制にする。ふるさと納税の返礼品として活用する。

◎災害時の被災者支援（避難所での生活などに活用）

防災拠点に恵那の薪を配達

恵那の森で火おこし体験、炊き出し体験、仮設風呂の設置体験

薪ストーブサミットを恵那市で行う。など

当市の豊かな自然環境とアクセスの良さを活かしながら、SDGs を推進することで、森林を維持し、自然環境の保全意識につながると考えています。エネルギーの循環の仕組みは、持続可能なまちづくりの一助となるものと思われま。ご意見を参考にさせていただきます。

◎次世代育成

森の幼稚園の実施

◎社会福祉

サービスセンターや老人福祉施設などのお風呂に「恵那の薪」を使用

障がい者施設で働く方々に恵那の薪の作成に携わっていただき、社会の一員として活躍していただく

■薪の供給について

- ・木の駅プロジェクトからの供給
- ・恵那市内の県道、市道にはみ出している危険な樹木、支障樹木の伐採した幹部分
- ・公共工事、リニア工事、民間開発工事などで伐採後、処分されてしまう樹木